

資料編

(環境データ)

(1) ニームス (Ni-EMS) について

1) ニームス (Ni-EMS) とは？

ニームスとは、新居浜市独自の環境マネジメントシステムの通称名。平成16年10月6日、新居浜市役所本庁舎内の組織の事務事業を対象範囲として、環境マネジメントシステム（環境管理システム）の国際規格ISO14001の認証を取得し、継続的な環境改善を図ってまいりました。

新居浜市は、環境基本計画、環境保全行動計画、地球温暖化率先行動計画を策定し、全部署を対象としてこれらの環境関連計画を進行管理しており、職員は、ISOにおける環境管理と混乱していました。

そのようなことから、平成19年4月、ISO活動の成果と課題をもとに、新居浜市独自の環境マネジメントシステム（Ni-EMS：通称ニームス）を構築し、運用を開始しました。

ニームスの特徴は、ISO14001で構築した体制は維持しつつ、対象範囲をこれまでの本庁舎から全部署に拡大し、各課所で目標設定を行い、電気や燃料などの維持経費の削減に努め、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき策定した『エコアクションプランにいはま（地球温暖化対策率先行動計画）』及び平成21年に改正されたエネルギー使用の合理化に関する法律に基づき、当市が特定事業者指定されたことから、この法に基づくエネルギー削減の中長期計画を効率よく推進し、その成果について、ISO14001審査員資格者、エコアクション21審査員資格者、愛媛県地球温暖化防止活動推進員等市民10名に環境監査委員として、市民の目線で市役所の環境活動を確認・助言していただいています。

※ISO14001とニームスのちがい

項目	ISO14001	ニームス
対象範囲	本庁舎内の部署	全部署
要求事項	ISO14001	新居浜市独自
システム文書類	多い	少ない
環境監査	市職員(内部監査)	環境監査と審査を統合 (市民環境監査委員10人で実施)
審査	外部審査機関	
経費	多い	少ない
その他	難しい単語が多く、難解	わかりやすい

2) 環境方針とは？

環境方針とは、環境マネジメントシステムを運営していく上での基本的な取組姿勢を明確にした環境管理総括者（市長）の表明のことです。

組織外への、環境保全に取り組む意思表示であり、組織内においては、環境保全に取り組む職員の意思統一のためのシンボルとなるものです。

環 境 方 針

こどもたちの未来のために
人と自然が共生し、かけがえのない環境を
大切にすまち “にいほま”

1 基本理念

私たちの住む新居浜は、公害を体験し、克服してきた歴史があるまちです。その先人の取組が、肥沃な大地と海と山の豊かな自然の恵みをもたらし、潤いと安らぎを与えてくれています。このすばらしい環境は、先人から受け継いだかけがえのない遺産であるとともに、将来の世代に必ず引き継がなければならない貴重な財産でもあります。

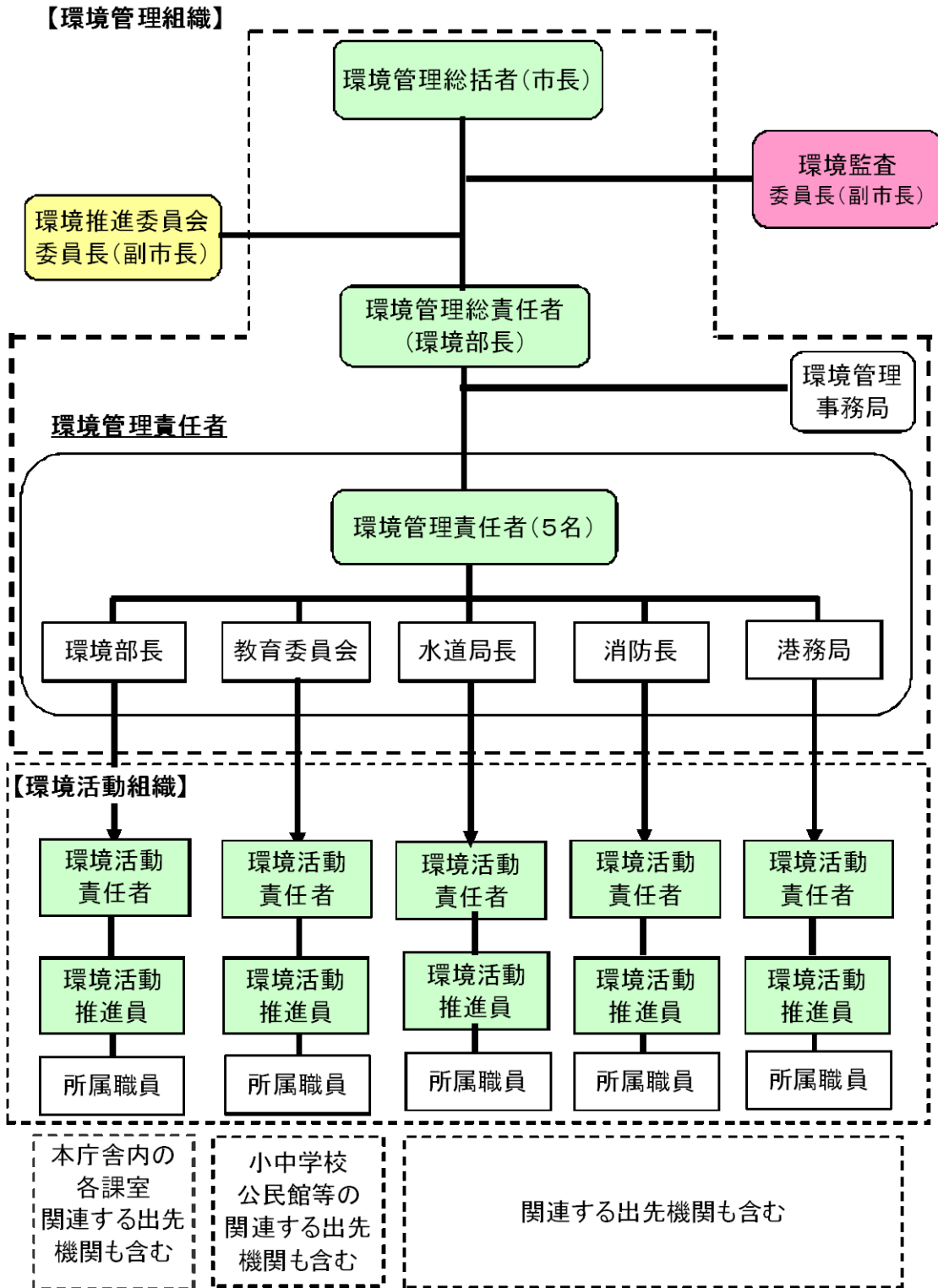
そのためには、市、市民及び事業者がそれぞれの責務を果たし、互いに協力し、学び合いながら、協働して新居浜の環境の保全及び創造に努めなければなりません。

新居浜市は、自らが率先して環境に配慮した行政を推進し、『めざす環境像』の実現に努めます。

2 基本方針

- (1) 地球にやさしい暮らしを実現するため、率先して地球温暖化対策を推進します。
- (2) すべての課所がエネルギー消費原単位の削減目標を設定し、積極的に省エネ活動を推進します。
- (3) 自然と共生したまちづくりを実現するため、新居浜市環境基本計画、新居浜市環境保全行動計画に基づき、積極的に各種施策を推進します。
- (4) 環境関連法令、条例、協定等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
- (5) 職員が環境方針を理解し、環境方針に沿った活動ができるよう研修を行います。
- (6) 環境方針に基づく活動結果を公表します。

3) 組織体制



4) ニームス活動結果

環境関連計画推進項目 進捗状況(平成24年度)

【達成状況】 目標達成:



目標未達成:



番号	項目	課所名	平成24年度 目標	平成24年度 活動実績	達成状況
1	環境教育(食育)の実施	児童福祉課	環境教育(食育)の実施 12回	環境教育(食育)の実施 12回	
2	にいはま環境広場の開催	環境保全課	環境関連団体の活動を紹介する	H24.11.18(日)開催	
3	環境管理システム (ニームス)の運用管理		省エネ法対応の システム作りの構築を図る	予定どおり実施	
4	エコ通勤の推進		エコ通勤の継続実施し、 エコ通勤率を算出する	予定どおり実施 毎月、第2・4水曜日(24回)	
5	みどりのカーテン 事業の実施		みどりのカーテン事業の実施	参加モニター50世帯 H24.5.12(土)講習会実施	
6	環境活動の推進		炭焼き体験学習など環境学習講座 や、 自然観察者養成講座を開催する	予定どおり実施	
7	資源ごみ集団回収		ごみ減量課	資源ごみ回収量 2,096t	資源ごみ回収量 1,947t
8	生ごみ減量の推進	生ごみ処理容器購入費補助 200基		生ごみ処理容器購入費補助 119基	
9	分別収集の推進 (ペットボトル)	ペットボトル回収量 219t		ペットボトル回収量 225t	
10	分別収集の推進 (古紙類)	古紙類回収量 2,772t		古紙類回収量 2,443t	
11	廃棄物焼却に伴う発熱の有効活用	清掃センター	廃棄物発電量(年間) 7,900,000kWh	廃棄物発電量(年間) 8,073,190kWh	
12	下水汚泥の有効利用	下水処理場	有効利用率 100%	有効利用率100% (4816.5t)	
13	森林体験学習の実施	農林水産課	森林体験学習の実施 1回	予定通り実施	
14	資源再生商品の利用促進	道路課	資源再生商品利用率 50%以上	資源再生商品利用率 50%	
15	環境活動の推進	王子幼稚園	自然観察会、講演会、 森で遊ぶ活動などの実施	予定通り実施	
16	新居浜環境講座の実施	生涯学習 センター	新居浜環境学習講座の実施 4回	新居浜環境学習講座の実施 4回(延べ91人参加)	
17	お話会の実施	図書館	環境に関する本の読み聞かせ 4回	環境に関する本の読み聞かせ 4回	
18	テーマ展示等の実施		環境関連のテーマ展示 1回	環境関連のテーマ展示 2回	
19	リサイクルブックフェアの 実施		リサイクルブックフェア 1回	H24.11.23(金)実施	